

## 授業実践（5）中学校1年生「集合時間は午前八時」

1 主題名 よりよい判断 【内容項目A-(1) 自主、自律、自由と責任】

2 教材名 「集合時間は午前八時」（出典『きみがいちばんひかるとき 2』  
「私たちの道徳」 pp. 24-25

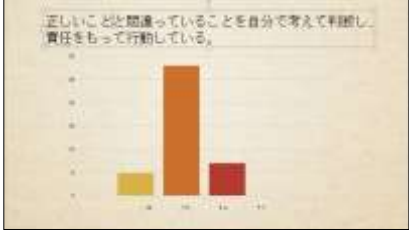

3 教材のあらすじ

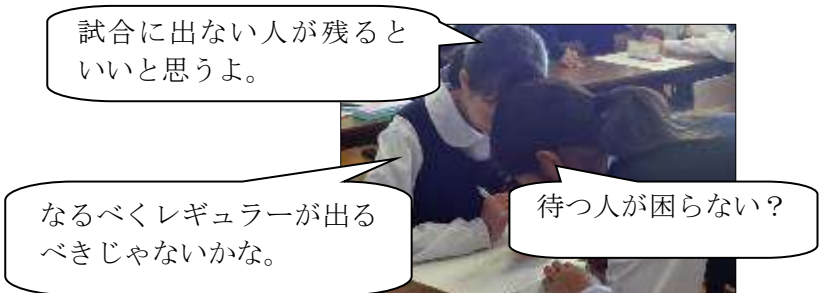
日頃から仲のよい7人が、対外試合に行くための待ち合わせの約束をする。ところが、時間になってもGさんが来ない。こんなとき、自分ならどのような行動を取るかを考えさせる内容である。

4 ねらい

普段の自分の行動選択について振り返り、常に誠実に、責任ある行動を取ろうとする心情を育てる。

5 展開

段階	学習活動◆主な手立て	主な発問(○) 生徒の発言(・)
自己を見つめる	<p>1 これまでの自分の行動を振り返り、ねらいとする道徳的価値について確認する。</p> <p>◆身近な話題を取り上げ、日常生活に関連付けて考えさせる。</p>	<p>○自分で考えて判断し行動すること に関する事前アンケートの結果を見て考えましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・判断するときに迷う人は多い。</li> <li>・自分もよく迷う。</li> </ul>  <p>○次の場合、どのような判断を皆さんはするでしょうか。どちらかに挙手してください。</p> <p>友達に宿題を見せてと言われて、見せるかどうか迷った。 「見せる」・・・約半数 「見せない」・・・約半数</p> <p>○判断するときに気を付けたらよいものがあると、よりよい判断につながりそうですね。</p> <p>○どうしたらよいか迷ったときに、何を大事に思って判断したらよいか考えましょう。</p>
	<p>2 資料を読み、問題解決の方法を話し合い、責任ある誠実な行動について考える。</p> <p>(1) ワークシートのウェビングに自分の考えを記入する。</p> <p>【書く活動①】</p> <p>◆選んだ立場をネームプレートで意思表示させることにより、全体の意見を可視化し、話し合いにつなげる。</p>	<p>○あなたの考えは、①から④の誰に近いですか。それを選んだ理由は何ですか。</p> <p>① 先に行く。 ・対戦相手に失礼だと思うから。</p> <p>② 補欠が残る。 ・置いていくのはかわいそうなので、誰か一人残ればよいと思うから。</p> <p>③ 部長が残る。 ・何かあったときに部長が責任を取る方がよいと思うから。</p> <p>④ 残る人を決める。 ・レギュラーがそろわないのは、相手に失礼だから。</p> 

自己の考えを広げ、深める	<p>(2) ペアでの話し合い 【話し合い】</p> <p>① 隣の人と話し合う。</p> <p>② 席を離れて話し合う。</p>	<p>○自分と違う立場や同じ立場でも理由が違う人の考えを聞いてみましょう。</p> <p>《話し合いの約束》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・違う立場だけではなく、同じ立場の人にも理由を聞く。</li> <li>・理由を聞いたら、ワークシートのウェビングに書き加える。</li> <li>・疑問に思ったことをお互いに質問する。</li> </ul> <div style="text-align: center;">  <p>試合に出ない人が残るといいと思うよ。</p> <p>なるべくレギュラーが出るべきじゃないかな。</p> <p>待つ人が困らない？</p> </div>
いれからの自己を考える	<p>(3) 全体での話し合い</p> <p>3 自分自身について振り返る。 【書く活動②】</p> <p>◆日常の自分の考えや判断が、誠実で責任ある行動であるかを振り返らせることで、本時のねらいと自分の生活を関連付けて考えられるようにする。</p> <p>4 教師の話を書く。</p>	<p>○自分と違う考えに質問してみましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・残る人を決めるよりも、責任ある行動のできる部長が残った方がよいのではないですか。</li> <li>・大事な試合なので、試合に出たい気持ちは皆同じだと思います。だから、みんなで納得いくように話し合った方がよいと思います。</li> <li>・先に行ったら、後からきたGさんが、状況が分からなくて、困ると思います。誰か一人残っていたら、伝えることができると思います。</li> <li>・遅れたGさんが悪いので、誰かが残っていたら、Gさんが気を遣うと思います。</li> </ul> <p>○話し合いを通して、行動選択するとき何を大事に思って判断したらよいと思いましたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・結果を考えること。</li> <li>・相手のことを考えること。</li> </ul> <p>○「私たちの道徳 p.25」を使って、これまでの自分の判断について振り返ってみましょう。</p> <p>○判断する時にこれまでの自分はどうか、これから、特に心掛けたいことは何かを「私たちの道徳 p.25」に記入しましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分のことばかりを考えていることが分かった。他人のことを考えなければいけないと思った。</li> <li>・私は今まで結果がどうなるかはちゃんと考えていたけれど、その結果に責任がもてるのかまでは考えていなかった。今度からは責任をもてるかまで考えられたらよいと思った。</li> </ul> <p>○「私たちの道徳 p.24」「この人の一言」の井上ひさしさんの言葉を読みましょう。</p>

[授業のまとめ]

- 「自己を見つめることができたか」について
  - ・ウェビングを用いたワークシートで友だちの考えを視覚的に把握しやすくなったことで、多面的・多角的に考えることができ、よりよい判断につながりました。

- 「自己の考えを広げ、深めることができたか」について
  - ・板書にもウェビングを用いたことで、クラス全体の考えを可視化することができ、自己と他者の考え方の相違に気づき、多面的・多角的に考えることにつながりました。
  - ・最初から判断の選択肢を4つ設定したことにより、状況に応じた判断につながりませんでした。
- 「これからの自己を考えることができたか」について
  - ・書く活動②において、最終的な判断を本時のねらいにつなげるための補助発問が不十分でした。
  - ・話し合いにおいて、ネームプレートやウェビングを用いて交流をすることによって、多様な考えに触れることができました。